

(様式2)

血清抗体価を用いた牛マイコプラズマ性乳房炎の清 浄化と環境検査による再発防止対策

：伊那家畜保健衛生所 中村光

1 令和3年度、酪農生産性向上対策事業によりA農場
2 において *Mycoplasma bovis* (以下 *M.b*) を摘発。全
3 頭検査及び分娩後検査により陽性牛を隔離・淘汰。令
4 和4年度も全頭検査2回延べ871頭、分娩後検査311
5 頭を継続して行い、陰性を確認し、清浄化を達成。ま
6 た、P81ELISA法で測定した乾乳牛群の血清抗体価
7 を、*M.b*の浸潤状況の評価に応用。適切な清浄化対策
8 を実施することで、乾乳牛群内の抗体陰性率を対策前
9 の6割から8割にすることに成功。対策を進める中、
10 子牛の中耳炎が連続したため、農場内の *M.b* 再流行防
11 止と牛呼吸器病症候群 (BRDC) を含めた子牛のマイコ
12 プラズマ感染症への対策を目的に環境の細菌検査を実
13 施。哺乳バケツ等の洗浄方法など、衛生面での改善を
14 指導し、細菌数が減少したことを確認。牛マイコプラ
15 ズマ発生農場における継続的な検査の重要性を再確
16 認。血清抗体価の利用、子牛の環境検査を実施するこ
17 とで再発防止対策に寄与できた。

(様式2)

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33